2020基礎ゼミナールオープンデータを知る、作る、使う



6/16 その5 ディスカッション1

> 都市環境学部 観光科学科 大澤 剛士 <arosawa@tmu.ac.jp>

● ハテナ(?)とマラソンの組み合わせ

質問・課題を言語化・可視化する

質問を創る学び Question-driven Learning(QDL)

類似語:

アイディアソン、ハッカソン

ハテナソン共創ラボ https://peraichi.com/landing_pages/view/hatenathon



● 質問の焦点

自分とオープンデータ



・選ばれた重要な質問

オープンデータを知った今、どのような方法で知らない人に 広めることができるか?	16
オープンデータかそうでないかをもっとわかりやすくするには どうしたらいいか	15
今の段階でオープンデータを活用したアプリを開発できたら、 どのようにしたらよりお金を稼ぐことが出来るか?	10
オープンデータを世間に広めるにはどのようにしたらよいか	9
日常生活で一番自分が目にしているオープンデータは何か	9
オープンデータを自分が使うとどのような利益をもたらせるのか	8
オープンデータを作成するのに重要な能力は何だろうか	7
オープンデータが悪用されたレポートはあるか。また、 そうならないために注意する点はあるか。	7



・選ばれた重要な質問

自分たちのような情報に疎い人にも優しく、わかりやすい オープンデータとは一体どのようなものか?	6
どのようにしたらオープンデータが広まるか	5
オープンデータでなければならないものは何か?	5
今自分が持っているものの中で、オープンデータとして 共有できるものはありますか?	3
どのように自分の生活に役立つのか	3
オープンデータで英語の勉強ができるか。 もしできるとしたらどのようにできるか	3
自分がオープンデータについて持っている知識が 全体のどれくらいなのか	2
オープンデータのどんなところに興味がありますか?(基礎ゼミの始め の方でも聞かれたが、オープンデータについて学んだ上で変化したとこ ろはあるか)	1

今日のテーマ

ディスカッション

重要な質問について皆で話し合います



- オープンデータの課題
 - ・どれがオープンデータかわかりにくい⇒複雑な著作権の権利行使

THE REAL PROPERTY.	利用ルール名称	利用の許可・不許可		
画像		出所の表示	商業利用	改変
@ <u>0</u>	表示 4.0 国際 (CC BY 4.0)	表示は必須	商業利用を許可する	改変を許可する
© 0 S	表示-非営利 4.0 国際 (CC BY-NC 4.0)		商業利用を許可しない (改変されたものを含む)	改変を許可する
© (1) (2)	表示-改変禁止 4.0 国際 (CC BY-ND 4.0)		商業利用を許可する	改変を許可しない
© (1) S (2)	表示-非當利-改変禁止 4.0 国際 (CC BY-NC-ND 4.0)		商業利用を許可しない	改変を許可しない
© 0 0	表示-継承 4.0 国際 (CC BY-SA 4.0)		商業利用を許可する	改変を許可するが、 利用ルールは踏襲
@ <u>0</u> 30	表示-非営利-継承 4.0 国際 (CC-NC-SA 4.0)		商業利用を許可しない (改変されたものを含む)	改変を許可するが、 利用ルールは踏襲





【出所】のエイティブ・コモンズ・ライセンスとは【かはイティブ・コモンズ・ジャパン】を改変して作成 https://creativecommons.jp/licenses/

マーク表示は非常に有用



● 日本独自のライセンス(文化庁)

- 要修理を創った人(著作者)が、自分の著作物を個人に自由に使ってもらってよいと考える場合に、その意面を表示するためのマークです。
- どんな利用ができるかは、マークによって異なります。

「自由利用マーク」には、次の3つの種類があります。

「プリントアウト・コピー・無料配布」OKマーク



「プリントアウト」「コピー」「無料配布」のみを認めるマーク (会更、改変、加工、切除、部分利用、要約、難訳、変形、節色、翻載などは含まれません。 そのまま「プリントアウト」「コピー」「無料配布」をする場合に限られます) (会社のパンプレットにコピーして配布することなどは、算利的的の利用ですが、無料配布であればできます)

「障害者のための非営利目的利用」OKマーク



福着着が使うことを目的とする場合に貼り、コピー、透信、配布など、あらゆる非認利回的利用を認めるマーク (変更、改革、加工、切除、部分利用、要約、翻訳、変形、脚色、翻案なども含まれます)

「学校教育のための非営利目的利用」OKマーケ



学校の様々な活動で使うことを目的とする場合に振り、コピー、送信、販布など、あらゆる布質利目的利用を認めるマーク (変更、改文、加工、切除、耐分利用、要約、難訳、変形、掛色、観客なども含まれます)









https://www.bunka.go.jp/jiyuriyo/pamphlet.html

● 自由利用マーク

これ見たことありますか?









● 自由利用マーク



〇〇億円使ったけど全く普及せず 2013年に白旗を上げ、CCを支援



● なぜ普及しなかった?

※ 大澤の勝手な解釈

自由利用マーク:文化庁が支えられている Creative Commons:オープンに支えられている

自由利用マークは"予算が付かなかったら"更新されない再検討もされない

非営利団体で寄付に支えられるCC オープンな議論によって更新され、対応が早い ⇒利用性が圧倒的に高い_{https://creativecommons.jp/}



●オープンデータの意義

公共性

データに限らず、オープンであることはときに公共機関を超える公共性を担保する

ディスカッション

- ブレイクアウトセッションでグループ作成
- 各グループで質問を1-2つ担当
- 重複がないよう振り分け
- 現時点の自分たちの答えを作成し、 その実現に必要なものを具体的に提示
- 最後に結果を共有



次回6/23

オープンデータを作る

オープンデータを知った今、自分でも作りたくなったんじゃないでしょうか?

次回は簡単にできるオープンデータ作りをやります

